

# 第28回

'17選抜女子駅伝  
北九州大会

- 期 日 / 2017年1月22日 (日)
- コース / 小倉北区・小倉城歴史の道—  
八幡西区・ホテルクラウンパレス北九州  
折り返し 32.8km

一般の部 5 区間 高校の部 6 区間



一般の部1位でフィニッシュするユニバーサルエンターテインメントの鷺見梓沙

## 一般の部

### ユニバーサル初優勝 最終区で3位から逆転

ユニバーサルエンターテインメントが4回目の出場で初制覇を果たした。2区までトップと1分近く離されたが、最終区47秒差でタスキを受け取った鷺見梓沙が底力を発揮。序盤、実力者の九電工・宮崎悠香と並走し、ユタカ技研・竹川ひなのをかかわすと、4<sup>キロ</sup>過ぎで宮崎を引き離した。さらに8<sup>キロ</sup>手前でTOTO・川上わかばを抜き去ると、そのまま差を広げてフィニッシュした。区間2位に44秒差の区間賞で逆転の圧勝を演出した。

TOTOは1区の大森巴菜ら3区間で区間賞を取りながら、最終区の川上が逆転を許し2位。3連覇を狙った九電工は1区の山下莉奈、2区のワイディラらが精彩を欠き、序盤の出遅れを最後まで取り戻せなかった。

川上わかば・TOTO5区「(ユニバーサル・鷺見の猛追に) 走りに無駄がなく、付くタイミングがなかった」  
藤野圭太・九電工監督「(3位に終わり) 現状を受け止めてほしい」

## 高校の部

### 「全国女王」大阪薫英女学院 堂々V2

2016年12月の全国高校駅伝で優勝した大阪薫英女学院が1区から1位を守り堂々のV2。全国優勝メンバーから大黒柱の高松智美ムセンビを欠きながらも安定した走りをみせた。4区・竹内ひかりがタスキを受けた時点で既に独走態勢に。さらに5区の木下文音が区間賞の快走を見せ、アンカー高田晴香につないだ。西脇工は2区の後藤夢と4区の田中希実が区間賞を奪ったが終盤に突き放された。筑紫女学園は1区が出遅れたものの、2区以降は順位を上げて4位で6区・御崎舞へ。4<sup>キロ</sup>手前で北九州市立と並ぶと、食い下がる相手をじりじりと引き離し、「地元対決」を制して3位に食い込んだ。

竹内ひかり・大阪薫英女学園4区「(高松不在で) 勝たないと意味がないと思っていた」

御崎舞・筑紫女学園6区「(北九州市立は) 絶対に負けたくないライバル。意地でもひっくり返したかった」



高校の部1位でフィニッシュする大阪薫英女学院のアンカー・高田晴香